



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月22日

上場会社名 株式会社 あさひ 上場取引所 東  
コード番号 3333 URL <https://www.cb-asahi.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 下田 佳史  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 長谷川 宏文（TEL）06(6923)7900  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第3四半期の業績（2025年2月21日～2025年11月20日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第3四半期	64,110	△0.7	4,320	△22.6	4,510	△20.2	2,927	△22.4
2025年2月期第3四半期	64,537	4.6	5,584	13.4	5,651	9.9	3,774	11.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	112.43	—
2025年2月期第3四半期	144.90	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第3四半期	55,687	40,874	73.4
2025年2月期	54,452	39,116	71.8

（参考）自己資本 2026年2月期第3四半期 40,874百万円 2025年2月期 39,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年2月期	—	25.00	—		
2026年2月期(予想)				25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の業績予想（2025年2月21日～2026年2月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	81,000	△0.7	4,230	△22.9	4,410	△21.6	2,640	△25.8	101.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（2025年12月22日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期3Q	26,240,800株	2025年2月期	26,240,800株
2026年2月期3Q	198,881株	2025年2月期	200,681株
2026年2月期3Q	26,041,154株	2025年2月期3Q	26,051,299株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は2014年6月19日より「役員報酬BIP信託」を導入しております。

期末自己株式数には、当該信託が所有する当社株式(2026年2月期3Q 198,370株、2025年2月期 200,170株)を含めております。また、当該信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年2月期3Q 199,135株、2025年2月期3Q 189,054株)。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(収益認識関係) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、所得環境が改善傾向にあったものの、物価上昇の長期化により家計の負担が増大し、米国の関税政策をはじめとする国際経済環境の不透明感も依然として残りました。そのため、先行きへの懸念が続き、消費者は節約志向を強め、支出も慎重な状況が続きました。

自転車小売業界におきましては、電動アシスト自転車など高機能商材への移行に伴う買い替えサイクルの長期化や物価高による消費意欲の低下により新車の買い替えは減少しましたが、修理・メンテナンスを行ないながら1台を長く利用する傾向はさらに強まりました。

当社におきましては、自転車の新しい価値創造企業として「持続可能な社会の実現」と「当社の持続的な成長」を目指し、お客様のより良い自転車ライフをサポートするとともに、誰もが安全・安心に自転車を利用できる環境づくりを推進してきました。まず、OMO（注）強化の一環として、「ネットで注文、お店で受取り」サービスの基盤強化を中心に、人気商材の確保、競争力のある販売価格の設定、効果的なキャンペーン施策などを実施しました。また、修理・メンテナンスにつきましては、最適なサービスを提供できる人員体制を整備したことで需要増加に対応することができました。当社の強みである全国展開の店舗網やECでの販売体制、リユース車の買取・再販体制、物流機能の強化と最適化、並びに修理技能を有する専門人材の育成など、従来から取り組んできた収益基盤を更に強化し、厳しい状況下でも対応可能な体制を構築しました。

物価上昇の影響で消費者の節約意識が強まったことから、リユース商品の需要が高まっています。リユース事業におきましては、西日本サポートセンターを増設し、自転車の整備・メンテナンス・クリーニングなどの商品化作業の効率化を推進しました。今後も、資源の有効活用および循環型経済への貢献を目指していきます。

出退店の状況につきましては、北海道地域に1店舗、関東地域に5店舗、中部地域に1店舗、近畿地域に1店舗、九州地域に1店舗を新規出店する一方で、関東地域の1店舗と近畿地域の1店舗が契約満了に伴い退店しました。この結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は、直営店534店舗、FC店18店舗のあわせて552店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は64,110,119千円（前年同期比0.7%減）となりました。また、営業利益は4,320,685千円（同22.6%減）、経常利益は4,510,719千円（同20.2%減）、四半期純利益は2,927,706千円（同22.4%減）となりました。

なお、当社は、自転車事業の単一セグメントであるため、セグメント別は記載しておりません。

（注） Online Merges with Offlineの略。ECと店舗が融合して、情報入手から購入、利用までをお客様の体験価値としてご提供する仕組み。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ①資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて1,143,925千円（3.7%）増加し、31,705,266千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加4,391,634千円、商品の減少2,471,997千円、未着商品の減少693,774千円等によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて90,802千円（0.4%）増加し、23,981,794千円となりました。これは主に、建物の増加588,402千円、建設仮勘定の減少253,656千円、ソフトウェアの減少179,377千円等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,234,727千円（2.3%）増加し、55,687,060千円となりました。

#### ②負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて553,320千円（3.9%）減少し、13,588,080千円となりました。これは主に、未払消費税等の増加1,022,304千円、賞与引当金の増加612,581千円、買掛金の減少1,667,975千円、未払法人税等の減少582,114千円等によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて30,208千円（2.5%）増加し、1,224,830千円となりました。これは主に、資産除去債務の増加19,069千円、株式報酬引当金の増加11,147千円等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて523,111千円（3.4%）減少し、14,812,910千円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1,757,838千円(4.5%)増加し、40,874,149千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による増加2,927,706千円、自己株式の処分による増加2,577千円、剰余金の配当による減少1,312,014千円等によるものです。

この結果、自己資本比率は73.4%(前事業年度末は71.8%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想の修正については、本日(2025年12月22日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,463,652	13,855,286
売掛金	4,000,917	3,748,618
商品	14,785,310	12,313,312
未着商品	1,443,089	749,315
貯蔵品	193,385	169,761
その他	675,945	869,931
貸倒引当金	△960	△960
流動資産合計	30,561,340	31,705,266
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,478,308	10,066,711
土地	3,163,012	3,163,012
その他（純額）	2,202,831	2,035,980
有形固定資産合計	14,844,152	15,265,704
無形固定資産	1,058,211	859,192
投資その他の資産		
差入保証金	5,252,535	5,277,353
建設協力金	654,859	583,000
その他	2,087,162	2,001,764
貸倒引当金	△5,930	△5,221
投資その他の資産合計	7,988,628	7,856,896
固定資産合計	23,890,991	23,981,794
資産合計	54,452,332	55,687,060

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,753,334	3,085,358
未払法人税等	1,328,005	745,891
契約負債	4,131,311	4,089,512
賞与引当金	1,034,927	1,647,508
その他	2,893,821	4,019,808
流動負債合計	14,141,400	13,588,080
固定負債		
株式報酬引当金	164,300	175,447
資産除去債務	793,292	812,362
その他	237,028	237,020
固定負債合計	1,194,621	1,224,830
負債合計	15,336,021	14,812,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	35,198,193	36,813,884
自己株式	△287,144	△284,566
株主資本合計	39,137,576	40,755,845
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△21,265	118,304
評価・換算差額等合計	△21,265	118,304
純資産合計	39,116,311	40,874,149
負債純資産合計	54,452,332	55,687,060

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年11月20日)
売上高	64,537,331	64,110,119
売上原価	33,888,173	33,460,972
売上総利益	30,649,158	30,649,147
販売費及び一般管理費	25,064,839	26,328,461
営業利益	5,584,318	4,320,685
営業外収益		
受取利息	27,512	29,992
受取家賃	80,833	80,232
受取手数料	64,267	61,246
その他	92,644	100,197
営業外収益合計	265,258	271,670
営業外費用		
為替差損	91,880	3,079
不動産賃貸原価	61,955	61,996
貸倒引当金繰入額	36,226	11
その他	8,301	16,548
営業外費用合計	198,364	81,635
経常利益	5,651,212	4,510,719
特別損失		
固定資産除売却損	13,270	51,543
減損損失	7,797	—
災害による損失	—	25,974
関係会社清算損	—	39,053
特別損失合計	21,068	116,571
税引前四半期純利益	5,630,144	4,394,148
法人税、住民税及び事業税	1,945,034	1,575,056
法人税等調整額	△89,614	△108,614
法人税等合計	1,855,419	1,466,442
四半期純利益	3,774,724	2,927,706



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、自転車事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年11月20日)
減価償却費	1,216,251千円	1,359,163千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間（自 2024年2月21日 至 2024年11月20日）

(単位：千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・ アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	45,704,967	11,200,424	—	5,502,726	62,408,117
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	112,345	2,016,868	2,129,213
顧客との契約から生じる収益	45,704,967	11,200,424	112,345	7,519,594	64,537,331
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	45,704,967	11,200,424	112,345	7,519,594	64,537,331

(注) 1. 当社は、自転車事業の単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。

当第3四半期累計期間（自 2025年2月21日 至 2025年11月20日）

(単位：千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・ アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	45,108,553	11,131,763	—	5,751,544	61,991,861
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	102,256	2,016,000	2,118,257
顧客との契約から生じる収益	45,108,553	11,131,763	102,256	7,767,545	64,110,119
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	45,108,553	11,131,763	102,256	7,767,545	64,110,119

(注) 1. 当社は、自転車事業の単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。